

みずほCustomer Desk Report 2022/05/23号 (As of 2022/05/20)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	127.86
TKY 9:00AM	127.85	1.0580	135.17	GBP/USD	1.2465
SYD-NY High	128.30	1.0600	135.71	AUD/USD	0.7043
SYD-NY Low	127.53	1.0533	134.63		
NY 5:00 PM	127.92	1.0569	135.10		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,261.90	8.77	日本2年債	▲0.0600%	0.0000%
NASDAQ	11,354.62	▲33.88	日本10年債	0.2400%	0.0000%
S&P	3,901.36	0.57	米国2年債	2.5848%	▲0.0246%
日経平均	26,739.03	336.19	米国5年債	2.8052%	▲0.0307%
TOPIX	1,877.37	17.29	米国10年債	2.7874%	▲0.0487%
シカゴ日経先物	26,730.00	350.00	独10年債	0.9385%	▲0.0010%
ロンドンFT	7,389.98	87.24	英10年債	1.8875%	0.0205%
DAX	13,981.91	99.61	豪10年債	3.2960%	▲0.1150%
ハンセン指数	20,717.24	596.56	USDJPY 1M Vol	10.95%	▲0.68%
上海総合	3,146.57	49.60	USDJPY 3M Vol	10.55%	▲0.42%
NY金	1,842.10	0.90	USDJPY 6M Vol	10.20%	▲0.28%
WTI	110.28	0.39	USDJPY 1M 25RR	▲0.85%	Yen Call Over
CRB指数	312.73	▲1.02	EURJPY 3M Vol	11.73%	▲0.47%
ドルインデックス	103.15	0.43	EURJPY 6M Vol	11.37%	▲0.30%

【昨日の指標等】

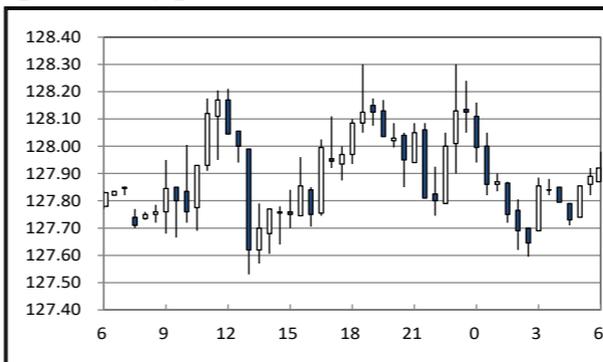
Date	Time	Event	結果	予想	
5月20日	08:01	英 GfK消費者信頼感	5月	-40	-39
	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI	4月	2.5%/2.1%/0.8%	2.5%/2.0%/0.7%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	4月	1.4%/-6.1%	-0.2%/-8.3%
	15:00	独 PPI(前年比/前月比)	4月	33.5%/2.8%	31.3%/1.2%
	23:00	欧 消費者信頼感	5月	-21.1	-21.5

【本日の予定】

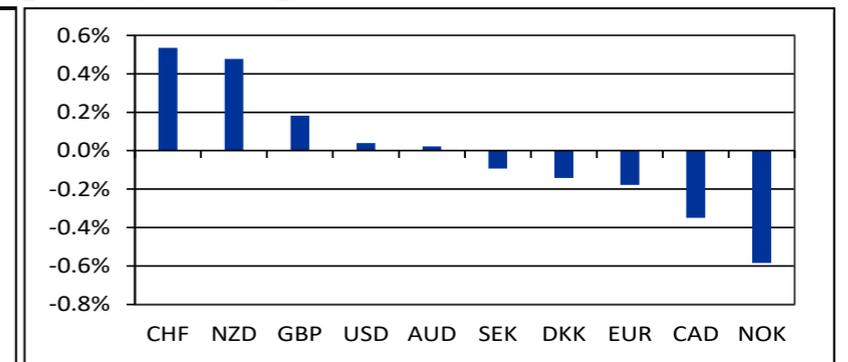
Date	Time	Event	予想	前回	
5月23日	17:00	独 IFO指数(企業景況感/期待/現況)	5月	91.4/86.5/96.8	91.8/86.7/97.2
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	4月	0.50	0.44
5月24日	01:00	米 ポスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-	-

東京	東京時間のドル円は127.85レベルでオープン。仲値にかけて上昇するも勢い続かず。上昇一服後は米金利上昇の流れに再びドル買い優勢となり、128.21を付ける場面もあった。米金利が下落に転じるとドル売り・円買いが進み127.53まで下げるも、その後はじりじりと下値を切り上げ、127.86レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は127.86レベルでオープン。米長期金利の上昇や欧州株が堅調に推移した事で、ドル買い優勢。128.06レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.2476レベルでオープン。特段注目される材料も無く30銭以内での小幅推移となり、1.2469レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場で中国の予想以上の5年ローンプライムレートが引き下げられたことや、週末を控えアジア、欧州株が買い戻される動きに円は売られる一方、ドルも売られたことから一旦127.53まで下落するがその後は円売りに下値をサポートされ128.06レベルでNYオープン。本日は主要な経済指標の発表が予定されていない中、朝方は一旦127.75まで下落するが、株式市場が上昇して寄り付き、円売りが持ち込まれ、128.30まで上昇する。G7に参加している鈴木財務相が「過度の変動や無秩序な動きへの合意を再確認」と話したことや、黒田日銀総裁が「YCC軸に協力緩和を粘り強く続ける」と話したことが伝わったが、為替市場の反応は限定的となるが、株式市場が大幅に下落する中円買いが優勢となり、127.60まで下落する。午後はブラッド・セントルイス連銀総裁の年末までに金利3.5%を目指すべきとの発言が伝わるが、週末を控え127.80付近での調整中心の値動きが続き、127.92レベルでクロスした。一方、ユーロは海外市場でドル売りが強まったことから1.0600まで戻し、1.0567レベルでNYオープン。朝方は暫くオープンレベルでの推移が続くが、堅調に寄り付いた米株式市場が下落する動きにユーロ円の売りが強まり、ユーロドルも1.0539まで下落する。午後にも上値を重く押し1.0533まで下落するが、終盤に掛けて株式市場が下げ渋る展開に1.0569レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	127.00-128.30	1.0470-1.0670	133.00-137.00

【マーケットインプレッション】

東京時間ドル円は127.85レベルでオープン。米金利上昇を受け、ドル円も上昇基調で推移。中国人民銀行による5年物ローンプライムレート引き下げ発表後は、リスクオンのドル買いが進行し、一時128.21レベルまで上昇する局面もあったが、その後は方向感乏しく、狭いレンジで推移し、127.86レベルで海外時間へ。米株推移に一喜一憂する形でドル円は128.30レベルまで値を上げた後、週末を控えた持ち高調整もあり、127.92レベルで引けた。本日のドル円は、軟調推移を予想。先週発表分の米経済指標が軟調推移していることに加え、市場テーマは引き続き「米国景気動向」である中、米株下落トレンドが意識されていることによる。引き続き、株式市場に一喜一憂する状況が続くと見られ、現時点では下値リスクに警戒したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 多川・西